

PASSION通信

平成27年6月1日～平成27年11月30日

Special 1.

開発ストーリー

時代をリードするサカタブランドの品種 ～トマト編～

ごあいさつ
連結財務ハイライト
連結財務諸表

Special 2.

海外子会社便り サカタ・シード・アメリカ

サカタキッチン

Special 3.

温故知新 | サカタのタネ ルーツを探る！ 物語①後編

Vol.2

第75期

中間株主通信



サカタのタネ

PASSION in Seed



株式会社 サカタのタネ
SAKATA SEED CORPORATION

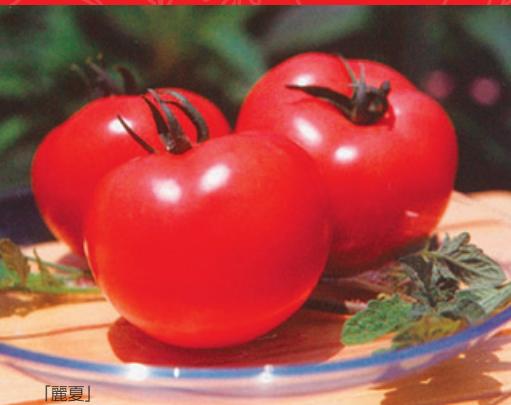
証券コード 1377

サカタのタネ

開発ストーリー

時代をリードする
サカタブランドの品種

トマト編



【麗夏】

これまでにないものを創りたい。お客様に喜ばれる、色とりどりの花、味わい豊かな野菜をお届けしたい。当社の品種開発の歴史は、この思いの軌跡でもあります。サカタのタネでは、お客様のさまざまなニーズに応えた品種開発を行っております。今回、野菜の人気品種の一つである『トマト』について紹介いたします。



トマトといえば日本で一年中店頭のところ、このアンデス高原原産の作栽培がしづらい作物だったのです。

並び、多くの人に愛されている野菜です。物は気むずかしく、日本の気候下では病気が多発するため、ここからサカタのタネの挑戦が始まります。

II トマトの日本上陸と戦後のF₁化

トマトはすでに戦前の当社のカタログに掲載が見られます。当時は固定種^(注1)が中心で、病気が出やすく栽培しづらい野菜だったことが想像されます。

その後もトマトは固定種の時代が続きましたが、戦後の食生活の西洋化もあり、広く食卓に上るようになると、より安定した生産が可能なF₁品種^(注2)が求められるようになってきました。F₁化に伴い収量が増えるだけでなく、病気に強くなるなどさまざまな性質が向上します。そこで当社はトマトのF₁化と耐病性の育種に挑みました。

II サカタのF₁トマトのはじまり

そのような流れの中で、昭和36年の「ほまれ」を皮切りに^{とよにしき}「豊錦」、「ハウスほまれ」などのF₁品種を発表し、その後も、お尻がとがるファースト系の「TVR-2」、丸玉系の「瑞光」などが続きました。昭和60年に茨城県つくば市で行われた国際科学技術博覧会(略称:科学万博・つくば'85)で「水耕栽培で一本の木に1万個以上の実がなるトマト」として話題になったのが「TVR-2」でした。また、「瑞光102」はハウストマトの主力品種となり爆発的な人気を獲得しました。

サカタF₁品種の嚆矢「ほまれ」

丸玉系の「瑞光」



ウイルス抵抗性をもつ「TVR-2」

II 他社商品に押され巻き返しを図る

しかし昭和50年代後半から、お尻がとがるファースト系トマトはスーパーでの取り扱いがしづらいなどの理由で、徐々に人気は低下しました。代わりに、他社が発表した完熟系をうたう品種に市場は席卷されてしまったのです。

一品種をつくり上げるのには、時には10年にもわたる多くの歳月を必要とします。他社品種が市場で人気を博している間も、当社育種陣の懸命の努力は続けられました。その結果、市場奪還を果たすべく、「まごころ」「おどりこ」などを市場に送り出しました。現在も味の良さで愛されている「サンロード」もこの頃に開発されています。しかし、これらはまだ巻き返しには十分とはいえませんでした。

II 流通・食味・病害対策の要望を満たす新品種群

そして、完成したのが、「王様トマト」のブランド名を冠する品種群です。王様トマトは、「麗夏」^{れいか}、「麗容」^{れいよう}、「ろくさんまる」、「マイロック」、「ごほうび」の5品種で構成されていました(現在は7品種)。この品種群は、株に成らせたまま赤熟させても果実がなお硬く、流通にのせることができます。赤熟させて収穫できるので、リコペンなどの成分が多く含まれ、栄養的にも味の面でも従来品種を大きくしのぎます。これらに、近年問題となっている黄化葉巻病に強い^{しゅうれい}「秀麗」を加えた「王様トマト」の攻勢で、他社完熟系の市場に食い込み、シェアを徐々に回復していきました。

さらに、当社は「りんか409」を送り出しました。丈夫で多取でももちろん味もよく、日本最大のトマト産地でシェアを獲得してその能力を示したのです。トマト産地が認めた「りんか409」により、日本のトマト品種の産地地図は大きく変貌することになります。

品種の品質向上はその後も続けられ、100周年記念品種として発表した「パルト」は、ホルモン処理や、ハチによる交配補助を行わなくてもよい「単為結果性」という性質をもった画期的品種です。

長い雌伏のときを経て、私たちのトマトが市場に受け入れられつつあります。おいしくて、病気に強く育てやすい、そんな、私たちが思う理想のトマトへの挑戦は、今この瞬間も続いています。



味の良さで愛される「サンロード」



「王様トマト」の一員「マイロック」



栽培面の長所を追求した「りんか409」



「単為結果性」をもつ新品種「パルト」

(注1) 固定種(こていしゅ): 品種の変化が固定され、代々親のタネを取ってまいていく品種。

(注2) F₁品種(えふわんひんしゅ): F₁とは「雑種第一代」のこと。二つの系統を掛け合わせると、その子供(一代目)は両親の性質を持ち、しかも「雑種強勢」という効果で強く優良な作物が生まれる。





ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第75期第2四半期（平成27年6月1日～平成27年11月30日）の業績ならびに通期の見通しについてご報告いたします。

代表取締役社長 **坂田 宏**



当第2四半期の業績についてお聞かせください。

当社グループの当第2四半期の業績は、前年同期に比べ増収増益となりました。

当社グループの当第2四半期の連結業績は、売上高は278億79百万円（前年同期比106.0%）、営業利益は49億93百万円（前年同期比154.5%）、経常利益は51億99百万円（前年同期比131.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億21百万円（前年同期比111.6%）となりました。

中国向けのニンジン、ブロッコリーが大きく伸び、また北米、欧州においても野菜種子、花種子が順調に推移しました。

海外では、中国向けのニンジン、ブロッコリー、トルコギキョウが好調に推移し、また北米、欧州でも野菜種子、花種子が順調に売上を伸ばしました。

国内では、ブロッコリーやトマト苗などが伸びましたが、ニンジン、パンジーなどが低調に推移し、前年同期比減収となりました。小売事業では不採算商品の削減や、リニューアルした通信販売制度への会員切り替えの過渡期にあたったことなどから、前年同期比減収となりました。

通期の見通しについてはいかがですか。

国内卸売、小売は前期比減収となるものの、海外での種子売上増でカバーし、増収増益を見込んでおります。

下期につきましては、海外卸売事業では、全ての地域において、野菜種子、花種子が引き続き好調に推移すると予想しております。

一方、国内卸売事業では、野菜種子はブロッコリー、ネギ、コマツナなどを中心に前期比増収を見込んでおりますが、資材の前期の農業用ハウスの雪害による復興需要の反動減などにより、全体では前期比減収となる見込みです。また小売事業では、上期に引き続いてホームガーデン事業の不採算商売の削減に取り組みます。このため、当事業部門も前期比減収を予想しております。

これらの結果、当社グループの通期の連結業績は、売上高586億円（前期比103.3%）、営業利益60億円（前期比125.5%）、経常利益64億円（前期比110.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益42億円（前期比109.9%）と見込んでおります。

株主の皆様へ向けてメッセージをお願いします。

いつもサカタのタネをお引き立ていただき、まことにありがとうございます。当社へのご理解をより深めていただきたいとの思いから、前回より『PASSION通信』と題した本誌を通じて、事業以外の情報を幅広く盛り込んでお届けしております。

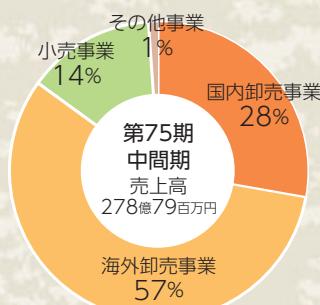
弊社は三年前の創業100周年を期に、"PASSION（情熱）in Seed"を全社のスローガンに定め、全社一丸となって株主様はじめ全てのステークホルダーの皆様最大の価値を提供していくべく、取り組んでおります。このPASSIONというキーワードには、P（People=人々）、A（Ambition=野心）、S（Sincerity=誠意）、S（Smile=笑顔）、I（Innovation=革新）、O（Optimism=プラス思考）、N（Never Give up=不屈の精神）、という当社の熱い思いが込められています。

当業界を取り巻く環境は国内外で大きく変化しておりますが、『人々に健康と安らぎのタネをお届けする』、というわたしたちの使命にはいささかも変わりはありません。これからも世界の人々により大きなSmileをお届けできるよう、Passionをもってまい進してまいります。本年もどうぞよろしく願いいたします。

平成28年2月

連結財務ハイライト

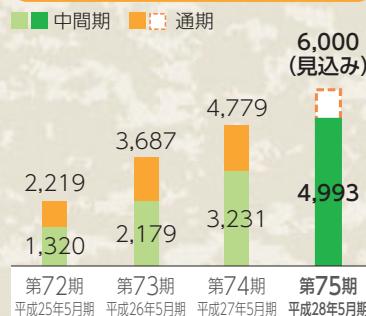
事業部別売上高構成比



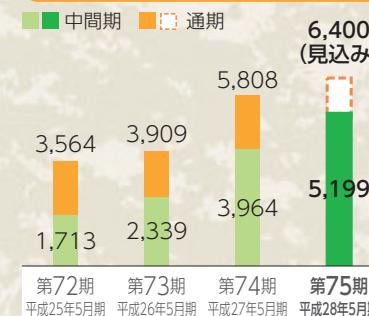
売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より、「四半期(当期)純利益」は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。



連結財務諸表

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



会社概要／株式の状況

■ 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結会計期間末 平成26年11月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 平成27年11月30日現在	前連結 会計年度末 平成27年5月31日現在
【資産の部】			
流動資産	61,899	65,831	62,724
固定資産	40,768	43,197	42,589
資産合計	102,667	109,028	105,313
【負債の部】			
流動負債	11,754	11,781	10,262
固定負債	5,940	7,780	7,641
負債合計	17,695	19,562	17,903
【純資産の部】			
株主資本	82,256	85,354	82,649
その他の 包括利益累計額	2,584	3,978	4,630
非支配株主持分	130	132	129
純資産合計	84,972	89,465	87,410
負債・純資産合計	102,667	109,028	105,313

(注)「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より「少数株主持分」を「非支配株主持分」としております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 平成26年6月1日から 平成26年11月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成27年6月1日から 平成27年11月30日まで	前連結 会計年度 平成26年6月1日から 平成27年5月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	5,440	4,686	4,136
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,207	△2,092	△1,844
財務活動による キャッシュ・フロー	△675	701	△945
現金及び現金同等物に 係る換算差額	124	△185	129
現金及び現金同等物の 増減額	3,681	3,109	1,476
現金及び現金同等物の 期首残高	9,162	10,639	9,162
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	12,844	13,748	10,639

■ 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 平成26年6月1日から 平成26年11月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成27年6月1日から 平成27年11月30日まで	前連結 会計年度 平成26年6月1日から 平成27年5月31日まで
売上高	26,305	27,879	56,707
売上原価	11,643	11,172	27,969
売上総利益	14,662	16,706	28,738
販売費及び 一般管理費	11,431	11,713	23,959
営業利益	3,231	4,993	4,779
営業外収益	796	398	1,193
営業外費用	63	191	164
経常利益	3,964	5,199	5,808
特別利益	336	-	388
特別損失	14	33	692
税金等調整前 四半期(当期)純利益	4,287	5,165	5,504
法人税等合計	1,298	1,830	1,677
四半期(当期) 純利益	2,988	3,334	3,826
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	12	12	5
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,976	3,321	3,820

(注)「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より「少数株主損益調整前四半期(当期)純利益」は「四半期(当期)純利益」に、「少数株主利益」は「非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益」に、「四半期(当期)純利益」は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

■ 会社の概要 (平成27年11月30日現在)

商号	株式会社 サカタのタネ
英文社名	SAKATA SEED CORPORATION
創業年月	大正2年(1913年)7月
設立年月	昭和17年(1942年)12月
資本金	135億円
本社	横浜市都筑区仲町台二丁目7番1号
従業員数	589名

■ 株式の状況 (平成27年11月30日現在)

発行可能株式総数 104,000,000株
 発行済株式の総数 48,410,750株
 株主数 24,452名
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ティールーム興産	7,607,996	15.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,869,300	7.99
株式会社みずほ銀行	2,245,500	4.63
株式会社三井住友銀行	1,990,760	4.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,077,300	2.22
佐々木嘉樹	1,020,000	2.10
資産管理サービス信託銀行株式会社	884,300	1.82
株式会社横浜銀行	744,047	1.53
キッコーマン株式会社	678,000	1.40
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	624,500	1.29

(注) 当社は、自己株式3,407,257株を保有しておりますが、上記10位からは除外して記載しております。

所有者別株式分布状況



■ 役員 (平成27年11月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	坂田 宏
常務取締役 常務執行役員	内山 理勝
常務取締役 常務執行役員	金子 英人
常務取締役 常務執行役員	加々美 勉
取締役執行役員	本田 秀逸
取締役執行役員	宇治田 明史
取締役執行役員	黒岩 和郎
取締役執行役員	古木 利彦
取締役	菅原 邦彦
常勤監査役	遠田 光雄
監査役	佐藤 順信
監査役	長谷川 上
執行役員	黒木 達司
執行役員	三浦 高明
執行役員	中井 智二
執行役員	米本 丈夫
執行役員	齋藤 弘佳
執行役員	高宮 全
執行役員	土門 賢一
執行役員	榎本 真也
執行役員	川村 学



Sakata Seed America, Inc. (サカタ・シード・アメリカ)

海外SAKATAブランド



戦前、「オール・ダブル・ペチュニア」で世界に打って出たサカタのタネは、現在も全地球的規模で積極的な営業展開を行っています。

種苗ビジネスに、国境はありません。創業時から海外に目を向け、輸出を行っていた当社は、戦前(第二次世界大戦前)にまずアメリカのシカゴに、その後 中国・上海にも支店を設置しました。戦後は台湾に次ぐ海外拠点として再度アメリカに進出し、以降、ヨーロッパ、中南米、アジア、アフリカなどに現地法人を設置。現在では19ヵ国26拠点到ネットワークを構築し、それぞれの地域に応じたきめの細かい対応を行っています。

今回は、昭和52(1977)年、サカタの最初の海外子会社として設立された、Sakata Seed America, Inc.(サカタ・シード・アメリカ)を紹介いたします。

SAIは北米市場に高品質の新しい花と野菜を供給することで注目を集め、その地位を確立してきました。ブロッコリー「アベンジャー」、メロン「インフィニティゴールド」、ビート「レッドエース」、トマト「スイートハート」、スイカ「カリスマティック」、また日本でもおなじみのパンジー「マジスティックジャイアント」、ジニア「プロフェュジョン」、「サンパチェンス」、ヒマワリ「ビンセント」などがその代表です。

さらに特色として、生産者と密接につながっていることが挙げられます。花と野菜の両方の市場で、サカタの専門家が多くの生産者と協力して新品種を試作し、収穫量を高め、コストを削減する生産方法を開発しています。またサカタの優れた品種を市場に送り出すために、複数のバリューチェーンに技術的なサポートを行っています。サカタ・シード・アメリカは海外子会社の「長男」として、サカタグループの発展に大きな役割を果たしています。



■170カ国以上で展開する事業の礎を築いた、Sakata Seed America, Inc.(サカタ・シード・アメリカ)

サカタ・シード・アメリカ(略称SAI)は、昭和52(1977)年にサカタグループ最初の海外子会社としてサンフランシスコに設立されました。その後、昭和63(1988)年に同じカリフォルニア州のモルガンヒルに移転しました。現在もサカタグループの重要な海外子会社です。本拠地のモルガンヒルのほか、サリナス、フロリダ、マウントバーテン(ワシントン州)の三つの研究農場を持っています。

モルガンヒル本社は、販売・マーケティングのほか、カスタマーサービス、商品管理、サプライチェーン、管理の各部門を含み、SAIの花と野菜の種子事業の中核を担っています。

サリナス研究農場は、葉菜類(キャベツ等)のアメリカで最も重要な生産地であるサリナスヴァレーに位置しています。多種多様な野菜の育種を行うと同時に、併設の研究所がブリーダー(育種担当者)のサポートや品質検定を行っています。また、花の分野でもサリナスは重要な拠点です。

フロリダ研究農場は、フロリダ州フォートマイヤーズに平成3(1991)年に開設しました。SAIの育種品目を拡大することが目的です。トマト、トウガラシ、スイカの、主にNAFTA向けの育種を行っています。ヨーロッパ、アジア、南米市場向けの育種も行っています。



Sakata Seed America, Inc.社の概要

所在地 18095 Serene Dr., Morgan Hill, CA 95037, U.S.A.
 資本金 USD 1,500,000
 主な事業 北中米における野菜、花種子の卸売、生産、研究開発



Ⅲ 従業員インタビュー

あなたの職種について教えてください

品質管理部門でグローアウト(注)検定の責任者の役割を担っています。

仕事の好きな所を教えてください

現在の職務では絶えず自社で生産を行っている商品に関する知識を深めることができる上、野外での業務が主なので、アウトドアが好きな私にとっては大変魅力的な仕事と感じています。また、その他に現在の職務では主体性を発揮する自由が多く与えられていると感じているのと同時に、大変素晴らしい上司に恵まれていることにもとても感謝しています。アメリカ国内のみならず世界中の同僚との間で交友関係を築く機会を与えていただいたことにも感謝しています。

仕事に関わる面白いエピソードについて教えてください

私のキャリアの中で最も興味深い経験の一つは、数年前に初めて日本を訪れたことです。その際に目の当たりにした日本の文化、美しい自然の景観、素晴らしい建築に大変魅了されました。日本文化の細部へのこだわりと、最上級のおもてなしは世界でも類いまれなものだと感じます。

仕事で難しい所について教えてください

アメリカ国外での商品種子生産量が増加していることに伴い、検定のリクエストも年間を通して私達の元に

いつでも送られてくるようになってきています。今後の課題として当地以外の検定圃場をいかに見つけられるか、それによって当地では植物が育てられない季節でも検定を行い、情報を必要とする部署にタイムリーに情報を提供していくことが今後の課題です。

仕事の他に好きなアクティビティについて教えてください

家族と一緒に時間を過ごすこと、また現在、種子テクノロジー産業の修士課程に取り組んでいます。

サカタアメリカの好きなところについて教えてください

農業は世界的に見ても大変重要な産業だと思います。中でもSakataは野菜種子を通して世界中の人々の食を支え、花種子を通して世界中の人々の生活に彩りを提供しています。Sakata Seed Americaでは大変強いリーダーシップの下、次世代のSakataを牽引していくリーダーが育っており、この明るい未来の一員として活躍できる事大変うれしく思っています！



Mara Trammell (マール トランメル) さん

(注) タネが本当にその商品かどうか実際に栽培して確かめること。

サカタキッチン

サカタの野菜を使った料理のレシピをご紹介します。第一回は寒い冬でも暖まる、野菜を使ったスープ二品です。目にもあざやかなミニトマトのすまし汁と、冬を乗り切る体力を養う根菜のスープをお楽しみください！



簡単なのに彩りあざやかなおもてなしの一腕

「アイコ」のかき玉すまし汁

材料(4人分)

「アイコ」ミニトマト…………… 12粒
卵…………… 1個
水…………… 3カップ
和風だしの素(かつお風味)… 適量
しょうゆ…………… 小さじ1
塩…………… 小さじ1/2
水溶き片栗粉…………… 大さじ1
小ネギ…………… 適量

作り方

- ① 「アイコ」は湯むし、卵は溶きほぐしておきます。
- ② 鍋に分量の水と和風だしの素を入れて火にかけ、煮立ったらしょうゆと塩で味をととのえます。
- ③ 水溶き片栗粉を加えて再度沸騰したら、卵を回し入れます。
- ④ 「アイコ」を入れてすぐに火を止め、器に盛りつけ、刻んだ小ネギを散らします。



ワンポイント！ トマトの酸味にはかつおだしがよく合います。

まるごと「あやめ雪」スープ

材料(4人分)

「あやめ雪」カブ…………… 2個
※葉も使用します
タマネギ…………… 1/2個
ベーコン…………… 適量
マッシュルーム…………… 適量
オリーブ油…………… 適量
固形スープの素…………… 1個
塩、コショウ…………… 少々

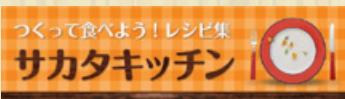
作り方

- ① 「あやめ雪」は皮をつけたまま6~8等分のくし切りにし、葉は大きめに刻みます。
- ② タマネギはくし切り、マッシュルームは薄切り、ベーコンは1cm幅に切ります。
- ③ 鍋にオリーブ油を熱して②を炒め、タマネギに火が通ったら水を加え、固形スープの素を入れます。
- ④ ③が沸騰したら「あやめ雪」と葉を加え、軽く火が通ったら、塩、コショウで味をととのえます。



ワンポイント！ 「あやめ雪」は肉質がやわらかいので軽く火を通す程度でOK。

まだまだあります！おいしいレシピ



当社の商品をつかったレシピをWEBサイトで公開中!!
<http://www.sakataseed.co.jp/recipe/index.php>

サカタキッチン

検索

温故知新

サカタのタネ ルーツを探る！ (物語 1 -後編)

海外実業実習で培った熱き志を胸に

関東大震災で「九死に一生」を得るが、倒産の危機に直面

坂田商会は種子輸出中心の専門会社として再出発した。注文が次第に舞い込むようになったが、送った種子が発芽しないケースもあり、大正10(1921)年ごろから民間初の「発芽試験室」を設け、「発芽試験」を行い、種子性状を子細に観察、良否を判定した。当社の種子絵袋に「発芽率〇〇%」と印刷されるのはそれ以来である。発芽試験で不良品の発送を食い止め、顧客の信頼を高めることができた。

事業は徐々に軌道に乗ってきた。特にアメリカで日本野菜の評判が良く、取引額も急上昇したため、需要拡大を考えた武雄は大正10(1921)年に渡米。シカゴにアメリカ人を支配人とする支店を設立した。

大正11(1922)年夏には、さらに力を入れて種子の輸出に取り組むため、横浜市に3階建ての本社事務所を新築、移転とほぼ同時に、満州で花と野菜の種子の委託生産を開始した。

だが大正12(1923)年9月1日、関東大震災で本社建物は倒壊。武雄は危うく九死に一生を得たが、その余波でシカゴ支店は開設から3年目で閉鎖せざるを得なかった。

大正15(1926)年9月、再出発した武雄は、同年、長野県の資産家である木戸家の五女・美代(20歳)と結婚。結婚生活は円満だったが子宝に恵まれず、のち昭和21(1946)年に旧伯爵堀田正恒の次男・正之を養子に迎えた。

関東大震災の痛手から立ち直り、国内向け通信販売カタログ『園の泉』を刊行したのは昭和2(1927)年。昭和6(1931)年には花きを扱う『園の泉』趣味号が創刊され、種子の通信販売が本格的に始まった。これが現在の『園芸通信』の基礎となった。

昭和5(1930)年5月には自社農場で優良品種の育成に取り組むため、試験場として「茅ヶ崎試験場」を開設した。



大正9(1920)年ごろの本社



坂田商会時代の本社従業員と共に
下段1列目中央 坂田武雄
大正11(1922)年12月26日



木戸美代と大正15(1926)年
9月30日に結婚



国内向け
通信販売カタログ
『園の泉』
昭和8(1933)年



倉庫内での作業の様子



民間初の「発芽試験室」

(物語 2 -前編)は、第75期株主通信に掲載いたします。

トピックス

「スピーディベジタブル」シリーズの新商品『袋で育てるはじめてセット』を発売

園芸初心者でも気軽に家庭菜園がはじめられる「スピーディベジタブル」シリーズの関連商品として、栽培容器(袋)付きの新商品『袋で育てるはじめてセット』を平成27年11月から発売しました。袋状の栽培容器を広げて乾燥培養土を入れ、ぬるま湯で土をもどし、タネ(別売)をまくだけで簡単に家庭菜園がはじめられます。



園芸初心者も安心、スマートフォン用アプリ『サカタコンシェル』開発

平成28年4月から、スマートフォンから園芸の専門家気軽に相談できるアプリ『サカタコンシェル』のサービスを開始します。当社のオリジナル商品についての育て方や栽培の悩みについて園芸の専門家が回答するもので、幅広いユーザーに安心して栽培を楽しんでもらう狙いです。利用は無料です。

「サカタコンシェル」のアイコン



株式会社 **サカタのタネ**

〒224-0041 横浜市都筑区仲町台2-7-1
TEL 045-945-8800(代)

当社では、株主の皆様はもとより、顧客の皆様方の満足度向上を目指し、「お客様相談室」を設けております。

お客様相談室
TEL 045-949-8137

(受付時間：平日 午前9時～午後5時)

株 主 × モ

事業年度	6月1日～翌年5月31日
配当金受領	期末 5月31日
株主確定日	中間 11月30日
定時株主総会	毎年8月下旬
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (証券コード 1377)
公告の方法	日本経済新聞

(ご注意)

株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

UD FONT
by MORISAWA

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

